平成28年度

学 生 募 集 要 項

【特別選抜（帰国子女・社会人・私費外国人留学生）】

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

お問い合わせ先

長崎県立大学　学生支援課　学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校
〒８５８－８５８０　長崎県佐世保市川下町１２３番地
Tel　０９５６－４７－５７０３　/　Fax　０９５６－４７－４６１６

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校
〒８５１－２１９５　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１
Tel　０９５－８１３－５０６５　/　Fax　０９５－８１３－５２２２

【目　　次】

１．理念と教育目標、学生受け入れ方針等

⑴　長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針…… 1

⑵　経営学部…… 2

⑶　地域創造学部…… 4

⑷　国際社会学部…… 6

⑸　情報システム学部…… 7

⑹　看護栄養学部…… 9

２．募集人員…… １２

３．入試日程…… １２

４．帰国子女特別選抜…… １３

５．社会人特別選抜…… １９

６．私費外国人留学生特別選抜…… ２４

７．入試情報の開示…… ３１

８．評価基準、合否判定基準…… ３２

９．大学生活案内…… ３６

1　理念と教育目標、学生受け入れ方針等

（1）長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目標

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心をもち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、上記の大学理念と教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

●人や自然を尊重できる人

●何事にも好奇心をもち、積極的に挑戦したいと考えている人

●目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人

●長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人

●地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

（2）経営学部

【教育目標】

経営学部では、現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材

○外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

経営学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

●企業の仕組み、マーケティング、簿記・会計などに関心を持つ人

●国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人

●企画力と課題解決能力を学び、チームで良質な製品・商品・サービスを顧客に提供することに強い関心を持つ人

●外国語を用いて、グローバルに活躍するビジネスパーソンを目指す人

経　営　学　科	**【教育目標】** 経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営、マーケティング、金融等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材 ○会計、簿記、税法等に関する専門的知識をもとに、企業や団体の経理部門で活躍できる人材 ○経営、会計等に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●経営に関する専門知識を学び、企業を立ち上げたり、企業の成長に貢献したい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計の専門的知識を学び、税理士や企業の経理部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、企業や地域社会の成長に貢献したい人 **【入学者選抜の基本方針】** 経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試（アカウンティングコース） 小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適正などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

	面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
国際経営学科	**【教育目標】** 国際経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体で活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 国際経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●他国の人とも協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人 **【入学者選抜の基本方針】** 国際経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

（3）地域創造学部

【教育目標】

地域創造学部では、地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材

○リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

地域創造学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

●地域社会や地域経済の課題に関心を持ち、その課題解決方法を学びたい人

●積極的に地域に入って、課題の発見や分析を行いたい人

●他者と協働してよりよい地域社会や地域経済を創造したい人

公共政策学科	**【教育目標】** 公共政策学科では、公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材 ○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 公共政策学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●地域や私たちの身の回りのさまざまな政策課題について習得した知識を活かして、地域の豊かな暮らしの構築に向けて貢献したい人 ●政策の企画・立案について習得した知識を活かして、行政や民間企業で活躍したい人 ●地域の諸問題を分析・考察するための知識やスキルを活用して、地域づくりに貢献したい人 **【入学者選抜の基本方針】** 公共政策学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試（県内離島高校区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適正などを総合的に評価します。 ●推薦入試 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目）を課すとともに、面接により、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適正などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

	●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
実践経済学科	**【教育目標】** 実践経済学科では、企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 実践経済学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●地域経済や企業の動向などの分析に関心を持つ人 ●地域社会や企業において経済に関する実践的なスキルを活かして活躍したい人 ●経済学分野の実践的能力や立案能力を要する職種で活躍したい人 ●企業の国内外における取引や事業等においてグローバルな経済活動を目指す人 **【入学者選抜の基本方針】** 実践経済学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

（4）国際社会学部

【教育目標】

国際社会学部では、国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○政治、経済、社会をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
○高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・マスコミ・多国籍企業等で活躍できる人材
○東アジア地域に対する広い知見を深め、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進や社会の発展に寄与できる人材
○国際社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

国際社会学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

●国際政治や経済など国際社会の諸事象や仕組みについて幅広い関心を持つ人
●グローバル化する現代社会における諸問題を解決しようとする意欲を持つ人
●現代社会におけるメディアに関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
●東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進に貢献したい人
●英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学科	**【入学者選抜の基本方針】** 国際社会学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、アドミッション・オフィス入試、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科５科目又は６科目、又は５教科５科目又は６科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試） 第１次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。 第２次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接で出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 ●推薦入試 小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

（5）情報システム学部

【教育目標】

情報システム学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

情報システム学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

●情報技術や情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
●高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学科	**【教育目標】** 情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 情報システム学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●Ｗｅｂ、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 ●多様な情報メディアを活用して、コンテンツを制作する知識を深め、技術や感性を高めたい人 **【入学者選抜の基本方針】** 情報システム学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

情報セキュリティ学科	**【教育目標】** 情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 情報セキュリティ学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人 ●Ｗｅｂ、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 **【入学者選抜の基本方針】** 情報セキュリティ学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

（6）看護栄養学部

【教育目標】

看護栄養学部では、人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
○保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
○看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

看護栄養学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

●いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
●人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
●科学を重視し、適確に物事を行える人
●社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
●協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看　護　学　科	**【教育目標】** 看護学科では、生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー)】** 看護学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人 **【入学者選抜の基本方針】** 看護学科では、一般入試（前期日程、後期日程)、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、

	本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。

栄養健康学科	**【教育目標】** 栄養健康学科では、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手あるいは高齢社会の食を支える管理栄養士 ○特定給食施設あるいは臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 栄養健康学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人 **【入学者選抜の基本方針】** 栄養健康学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科７科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、個別学力検査（面接）で、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●推薦入試 和文及び英文の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に判断します。 ●帰国子女入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 学力試験では、化学の基本的な知識と理解力について評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

２．募集人員

（単位：人）

学部	学科	入学定員	募集人員							
			一般入試			特別選抜				AO入試
			前期日程	後期日程	計	推薦	帰国子女	社会人	私費外国人留学生	
経営	経営	140	70	15	85	55	若干名	若干名	若干名	―
	国際経営	60	30	10	40	20	若干名	若干名	若干名	―
地域創造	公共政策	120	60	30	90	30	若干名	若干名	若干名	―
	実践経済	130	65	20	85	45	若干名	若干名	若干名	―
国際社会	国際社会	60	30	6	36	19	若干名	若干名	若干名	5
情報システム	情報システム	40	20	8	28	12	若干名	若干名	若干名	―
	情報セキュリティ	40	20	8	28	12	若干名	若干名	若干名	―
看護栄養	看護	60	38	6	44	16	若干名	若干名	若干名	―
	栄養健康	40	24	6	30	10	若干名	若干名	若干名	―

３．入試日程

区　分	帰国子女及び社会人	私費外国人留学生	
学　部	全学部	経営・地域創造	国際社会・情報システム・看護栄養
出願期間	平成 27 年 11 月 1 日(日) ～11 月 10 日(火)	平成 27 年 11 月 4 日(水) ～11 月 12 日(木)	平成 28 年 1 月 8 日(金) ～ 1 月 15 日(金)
選抜期日	平成 27 年 11 月 28 日(土)	平成 27 年 12 月 8 日(火)	平成 28 年 2 月 25 日(木)
合格発表	平成 27 年 12 月 4 日(金)	平成 28 年 1 月 8 日(金)	平成 28 年 3 月 5 日(土)
入学手続期間	平成 27 年 12 月 7 日(月) ～12 月 15 日(火)	平成 28 年 1 月 18 日(月) ～ 1 月 22 日(金)	平成 28 年 3 月 6 日(日) ～ 3 月 15 日(火)

４．帰国子女特別選抜

（１）出願資格

全学部

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の①～③のいずれかに該当する者

①外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成２６年４月１日から平成２８年３月３１日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者

②日本の高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年３月３１日までに卒業（修了）見込みの者で、中学校・高等学校を通じて３年以上外国の学校で教育を受け、かつ日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在籍期間が２年未満の者

③次のいずれか一つを平成２６年４月１日以降に外国において取得した者で、平成２８年３月３１日までに１８歳に達している者

（ア）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

（イ）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

（ウ）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

（注）①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在籍した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

（２）出願期間　　平成２７年１１月１日（日）～１１月１０日（火）　**必着**

（３）出願先

経 営 学 部 地域創造学部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

（４）出願方法

①出願書類を郵送する場合は、必ず**「簡易書留・速達」**で送付してください。

②大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに出願先の学生支援課窓口へ提出してください。

（５）出願書類等

経営学部・地域創造学部用と国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部用がありますので、志望する学部のものを使用してください。

帰　国　子　女				
出願資格 （１３ページ参照）			書類等	作　　成　　方　　法
① 該当	② 該当	③ 該当		
○	○	○	志願票【A票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
○	○	○	履歴書 【A票（裏面）】	本学所定の様式（志願票の裏面）に必要事項をもれなく記入してください。
○	○	○	志望理由書【B票】	本学所定の様式に志望理由等について、志願者本人が自筆で記入してください。
○	○	○	写真票【C票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
○	○	○	受験票【D票】	
○	○	○	検定料納付証明書 貼付票【E票】	①金融機関の窓口（ゆうちょ銀行、郵便局を除く）にて所定の振込依頼書により**17，000円**を納付し、検定料納付証明書（③票）を貼付してください。 ②振込期限：**平成27年11月10日（火）** ③振込手数料は、志願者が負担してください。
―	○	―	調査書等 ※１	日本の高等学校に在籍したことがある場合又は在学中の場合は、文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。
○	○	○	海外在留証明書	在外公館又は保護者の所属する機関の長による証明書（滞在期間、在留地を明記したもので、様式は任意とします。）
○	○	―	卒業（修了）証明書 又は卒業（修了）見込み証明書 ※２	高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書及びその公証書（出願資格②に該当の場合は、公証書は必要ありません。）
○	○	―	成績証明書	外国において在学した高等学校長が作成した在学期間すべての成績証明書及びその公証書（出願資格②に該当の場合は、公証書は必要ありません。）

帰　国　子　女				
出願資格 （１３ページ参照）			書類等	作　　成　　方　　法
① 該当	② 該当	③ 該当		
―	―	○	資格証明書及び 成績評価証明書	(ア)～(ウ)のいずれかの証明書を提出してください。 (ア)国際バカロレア資格証書の写し及び最終試験６科目の成績証明書の写し (イ)アビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し (ウ)バカロレア資格（フランス共和国）証明書の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し
○	○	○	宛名シール【Ｆ票】	郵便番号、住所、氏名を記入し、切り取り線①、②から切り離してください。
○	○	○	受験票送付用封筒 【G票】	所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、６７２円分の切手を貼付してください。
○	○	○	出願用封筒【H票】	①必要事項を記入のうえ、出願書類を同封し必ず「簡易書留・速達」扱いにて郵送してください。 ②封筒の表面の郵便番号欄に、下記のいずれかの郵便番号を記入してください。（住所を記入する必要はありません） ■経営学部・地域創造学部志願者・・・〒８５８－８５８０ ■国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部志願者 ・・・〒８５１－２１９５

※１　被災その他の事情により調査書が得られない場合には、学生支援課学生グループに申し出てください。

※２　外国の高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書が発行できない等やむを得ないと認められる事情がある場合は、卒業（修了）証書の写しを提出してください。その場合、受験時に原本の提示が必要となります。

（６）出願上の注意事項

①出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。

②出願書類がすべてそろっていない場合には受付できません。また、外国の学校又は機関において外国語で作成された書類には、**日本語訳**及び**公証書**※を添付のうえ提出してください。

※公証書は、中国では教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において、その他の国では当該の大使館、領事館、外務省等において、提出書類が真実であることを宣誓し、証明を受けてください。出願書類の準備に時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにしてください。

③出願受付後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

④受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。選抜期日が近づいても受験票が届かない場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

⑤入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

⑥一度受理した出願書類は返却しません。

⑦既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

（ア）出願書類を提出しなかった場合

（イ）出願が受理されなかった場合

（ウ）二重に振り込んだ場合

なお、当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から４０日以内とします。

（７）身体に障害のある入学志願者との協議

身体に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、平成２７年１０月９日（金）までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

（８）選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合的に判定して行います。

①選抜期日　　平成２７年１１月２８日（土）

②試験時間・科目等の配点

学　部	学　科	科目等	試験時間	配点
経　営	経　営 国際経営	小論文	１０：００～１１：００（６０分）	100 点
		面　接	１３：００～	(※注)
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	１０：００～１１：００（６０分）	100 点
		面　接	１３：００～	(※注)
国際社会	国際社会	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	80 点
		面　接	１２：３０～	20 点
情報ｼｽﾃﾑ	情報システム	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	75 点
		面　接	１２：３０～	25 点
	情報セキュリティ	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	75 点
		面　接	１２：３０～	25 点
看護栄養	看　護	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	80 点
		面　接	１２：３０～	20 点
	栄養健康	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	100 点
		面　接	１２：３０～	100 点

（※注）経営学部・地域創造学部の面接については、出願書類及び大学が実施する小論文の結果と総合して合否判定を行います。

○経営学部・地域創造学部の受験者は、９時００分から９時４０分までに指定された教室に入室し、着席してください。

○国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部の受験者は、８時３０分から９時４０分までに指定された教室に入室し、着席してください。

③試験場

経 営 学 部 地域創造学部	長崎県立大学佐世保校　　長崎県佐世保市川下町１２３番地
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	長崎県立大学シーボルト校　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１

（９）受験上の注意事項

①小論文試験開始後は、２０分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
②面接試験開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。その時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
③本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
④当日は、受験票を必ず持参してください。
⑤当日に受験票を忘れた者は、速やかに申し出て、係員の指示に従ってください。
⑥小論文試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机上に置いてください。
⑦小論文の試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
⑧不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。なお、その場合、失格となることがあります。
⑨携帯電話等の電子機器の使用は禁止しますので、電源を必ず切ってかばん等に入れてください。
⑩試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。
⑪昼食ができる場所は別途指示します。
⑫試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
⑬試験前日の午後に限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
⑭その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

（10）合格発表

①合格発表日　　平成２７年１２月４日（金）　　午前１０時
②合格発表方法
（ア）合格発表日に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に対して合格通知書を速達で発送します。
（イ）掲示場所
・経営学部、地域創造学部　長崎県立大学佐世保校本館玄関前ロビー
・国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部　長崎県立大学シーボルト校学生支援課前
（ウ）本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
・ホームページアドレス　　http://sun.ac.jp/
※ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。
（エ）電話等での問い合わせには一切応じません。

(11) 入学手続

①入学手続期間　　平成２７年１２月７日（月）～１２月１５日（火）　**必着**

②入学手続先

経 営 学 部 地域創造学部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

③入学手続方法

（ア）入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

（イ）提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。

（ウ）郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、入学手続期間内必着とします。

（エ）大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに入学手続先の学生支援課窓口へ提出してください。

（オ）一度受理した入学手続書類は返還しません。

④留意事項

合格者が入学手続期間内に手続を完了しない場合は、合格者としての権利が消滅します。

(12) 初年度納付金等《保護者の方にも目を通してもらってください》

①入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

（ア）県内生　　１７６，５００円

（イ）県外生　　３５３，０００円

（注１）「県内生」とは、本人又はその配偶者、もしくは一親等の血族が、平成２７年４月１日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。

（注２）入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注３）入学料は、入学手続期間内（１２月７日～１２月１５日）に納付してください。

（注４）既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

②授業料

前　　期	後　　期	年　　額
２６７，９００円	２６７，９００円	５３５，８００円

（注１）授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注２）授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続関係書類とともに送付します。

（注３）在学中に授業料の改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

③その他納付金

学　　部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経 営 学 部 地域創造学部	５０，０００円	１２，０００円	３３，０００円	４，６６０円
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	５０，０００円	１０，０００円	２９，５００円	４，６６０円～

（注）その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

④実習等経費

費用については３６ページをご参照ください。

５．社会人特別選抜

（１）出願資格

全学部

平成２８年３月３１日までに２３歳に達し、次の①～③のいずれかに該当する者で、出願日現在、社会人として認められる者

①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

②通常の課程による１２年の学校教育を修了した者

③学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※③により入学資格認定申請を行う者は、学生支援課学生グループ窓口、またはホームページで「入学資格認定申請書」を取得し、平成２７年１０月１３日（火）までに提出してください。

（２）出願期間　　平成２７年１１月１日（日）～１１月１０日（火）　**必着**

（３）出願先

経営学部 地域創造学部	〒858-8580　長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

（４）出願方法

①出願書類を郵送する場合は、必ず**「簡易書留・速達」**で送付してください。

②大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに出願先の学生支援課窓口へ提出してください。

（５）出願書類等

経営学部・地域創造学部用と国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部用がありますので、志望する学部のものを使用してください。

社　会　人	
書類等	作　成　方　法
志願票【A票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
履歴書【A票（裏面）】	本学所定の様式（志願票の裏面）に必要事項をもれなく記入してください。
志望理由書【B票】	本学所定の様式に志望理由等について、志願者本人が自筆で記入してください。
写真票【C票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
受験票【D票】	

社　会　人	
書類等	作　　成　　方　　法
検定料納付証明書貼付票【Ｅ票】	①金融機関の窓口（ゆうちょ銀行、郵便局を除く）にて所定の振込依頼書により**17，000円**を納付し、検定料納付証明書（③票）を貼付してください。 ②振込期限：**平成27年11月10日（火）** ③振込手数料は、志願者が負担してください。
調査書等　※	文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。卒業後５年以上経ち、調査書を提出できない者は、単位修得証明書又は成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 また、外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験、大学入学資格検定の合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。
高等学校卒業程度認定試験 合格証明書 （該当者のみ）	高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格証明書の写し
卒業（修了）証明書 （該当者のみ）	高等学校若しくは中等教育学校の卒業（修了）証明書
宛名シール【Ｆ票】	郵便番号、住所、氏名を記入し、切り取り線①、②から切り離してください。
受験票送付用封筒 【Ｇ票】	所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、６７２円分の切手を貼付してください。
出願用封筒【Ｈ票】	①必要事項を記入のうえ、出願書類を同封し必ず「簡易書留・速達」扱いにて郵送してください。 ②封筒の表面の郵便番号欄に、下記のいずれかの郵便番号を記入してください。（住所を記入する必要はありません） ■経営学部・地域創造学部志願者　　・・・〒８５８－８５８０ ■国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部志願者　・・・〒８５１－２１９５

※　高等学校生徒指導要録の保存期間（入学、卒業等の学籍に関する記録（各教科・科目等の修得単位数の記録を含む。）については卒業後２０年、指導に関する記録については卒業後５年。）が経過したもの、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、学生支援課学生グループに申し出てください。

（注）改姓により出願書類と各種証明書の氏名が異なっている場合には、戸籍抄本を添付してください。

（６）出願上の注意事項

①出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。

②出願書類がすべてそろっていない場合には受付できません。

③出願受付後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

④受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。選抜期日が近づいても受験票が届かない場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

⑤入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、

入学を取り消すことがあります。

⑥一度受理した出願書類は返却しません。

⑦既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

（ア）出願書類を提出しなかった場合

（イ）出願が受理されなかった場合

（ウ）二重に振り込んだ場合

なお、当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から４０日以内とします。

（７）身体に障害のある入学志願者との協議

身体に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、平成２７年１０月９日（金）までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

（８）選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合的に判定して行います。

①選抜期日　　平成２７年１１月２８日（土）

②試験時間・科目等の配点

学　部	学　科	科目等	試験時間	配点
経　営	経　営 国際経営	小論文	１０：００～１１：００（６０分）	100 点
		面　接	１３：００～	(※注)
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	１０：００～１１：００（６０分）	100 点
		面　接	１３：００～	(※注)
国際社会	国際社会	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	80 点
		面　接	１２：３０～	20 点
情報ｼｽﾃﾑ	情報システム	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	75 点
		面　接	１２：３０～	25 点
	情報セキュリティ	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	75 点
		面　接	１２：３０～	25 点
看護栄養	看　護	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	80 点
		面　接	１２：３０～	20 点
	栄養健康	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）	100 点
		面　接	１２：３０～	100 点

※注）経営学部・地域創造学部の面接については、出願書類及び大学が実施する小論文の結果と総合して合否判定を行います。

○経営学部・地域創造学部の受験者は、９時００分から９時４０分までに指定された教室に入室し、着席してください。

○国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部の受験者は、８時３０分から９時４０分までに指定された教室に入室し、着席してください。

③試験場

経 営 学 部 地域創造学部	長崎県立大学佐世保校　　長崎県佐世保市川下町１２３番地
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	長崎県立大学シーボルト校　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１

（９）受験上の注意事項

①小論文試験開始後は、２０分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
②面接試験開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。その時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
③本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
④当日は、受験票を必ず持参してください。
⑤当日に受験票を忘れた者は、速やかに申し出て、係員の指示に従ってください。
⑥小論文試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机上に置いてください。
⑦小論文の試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
⑧不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。なお、その場合、失格となることがあります。
⑨携帯電話等の電子機器の使用は禁止しますので、電源を必ず切ってかばん等に入れてください。
⑩試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。
⑪昼食ができる場所は別途指示します。
⑫試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
⑬試験前日の午後に限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
⑭その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

（10）合格発表

①合格発表日　　平成２７年１２月４日（金）　　午前１０時
②合格発表方法
（ア）合格発表日に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に対して合格通知書を速達で発送します。
（イ）掲示場所
・経営学部、地域創造学部　長崎県立大学佐世保校本館玄関前ロビー
・国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部　長崎県立大学シーボルト校学生支援課前
（ウ）本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
・ホームページアドレス　　http://sun.ac.jp/
※ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。
（エ）電話等での問い合わせには一切応じません。

(11) 入学手続

①入学手続期間　　平成２７年１２月７日（月）～１２月１５日（火）　**必着**

②入学手続先

経 営 学 部 地域創造学部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

③入学手続方法

（ア）入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

（イ）提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。

（ウ）郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、入学手続期間内必着とします。

（エ）大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに入学手続先の学生支援課窓口へ提出してください。

（オ）一度受理した入学手続書類は返還しません。

④留意事項

合格者が入学手続期間内に手続を完了しない場合は、合格者としての権利が消滅します。

(12) 初年度納付金等

①入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

（ア）県内生　　１７６，５００円

（イ）県外生　　３５３，０００円

（注１）「県内生」とは、本人又はその配偶者、若しくは一親等の血族が、平成２７年４月１日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。

（注２）入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注３）入学料は、入学手続期間内（１２月７日～１２月１５日）に納付してください。

（注４）既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

②授業料

前　　期	後　　期	年　　額
２６７，９００円	２６７，９００円	５３５，８００円

（注１）授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注２）授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続関係書類とともに送付します。

（注３）在学中に授業料の改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

③その他納付金

学　　部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経　　営 地域創造	１０，０００円	１２，０００円	３３，０００円	４，６６０円
国際社会 情報システム 看護栄養	５０，０００円	１０，０００円	２９，５００円	４，６６０円～

（注）その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

④実習等経費

費用については３６ページをご参照ください。

６．私費外国人留学生特別選抜

（１）出願資格

全学部

日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の①及び②のいずれにも該当する者

①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者で平成２８年３月３１日までに１８歳に達する者

（ア）外国において学校教育における１２年の課程を修了した者（平成２８年３月３１日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者

（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者

ⅰ．スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

ⅱ．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

ⅲ．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

ⅳ．外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（ＷＡＳＣ、ＡＣＳＩ、ＣＩＳ）の認定を受けたものに置かれる１２年の課程を修了した者又は平成２８年３月３１日までに修了見込みの者

（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成２６年度又は平成２７年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者

学　　科	利用科目	試験の成績	出題言語
経　　営 国 際 経 営 公 共 政 策 実 践 経 済	**日本語**	成績要件は 特に設けない	日本語
	数学（コース１又はコース２）		
	理科（物理、化学、生物のうち２科目）又は**総合科目**		
国 際 社 会	**日本語**	成績要件は 特に設けない	日本語
	数学（コース１又はコース２）		
	総合科目		
情報システム 情報セキュリティ	**日本語**	２５０点以上	日本語
	数学（コース１又はコース２）	１２０点以上	日本語又は 英語
	総合科目	１２０点以上	
看　　護	**日本語**	成績要件は 特に設けない	日本語
	数学（コース１又はコース２）		
	理科（化学、生物）		
栄 養 健 康	**日本語**	成績要件は 特に設けない	日本語
	理科（化学、生物）		

（２）出願期間

経 営 学 部 地域創造学部	平成２７年１１月　４日（水）～１１月１２日（木）　**必着**
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	平成２８年　１月　８日（金）～　１月１５日（金）　**必着**

（３）出願先

経 営 学 部 地域創造学部	〒858-8580　長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

（４）出願方法

①出願書類を郵送する場合は、必ず**「簡易書留・速達」**で送付してください。
②大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに出願先の学生支援課窓口へ提出してください。

（５）出願書類等

経営学部・地域創造学部用と国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部用がありますので、志望する学部のものを使用してください。

私 費 外 国 人 留 学 生	
書類等	作　成　方　法
志願票【A票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
履歴書 【A票（裏面）】	本学所定の様式（志願票の裏面）に必要事項をもれなく記入してください。
志望理由書【B票】	本学所定の様式に志望理由等について、志願者本人が自筆で記入してください。
写真票【C票】 受験票【D票】	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。 （上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４㎝×横３㎝）
検定料納付証明書貼付票【E票】	①金融機関の窓口（ゆうちょ銀行、郵便局を除く）にて所定の振込依頼書により**17，000円**を納付し、検定料納付証明書（③票）を貼付してください。 ②振込期限：**経営・地域創造　平成27年11月12日（木）** **国際社会・情報システム・看護栄養　平成28年1月15日（金）** ③振込手数料は、志願者が負担してください。
卒業（修了）証明書等　※	○高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書及びその公証書を提出してください。
成績証明書	外国において在学した高等学校長が作成した在学期間すべての成績証明書及びその公証書を提出してください。

書類等	作　　成　　方　　法
日本留学試験 受験票の写し	平成２６年度又は平成２７年度日本留学試験（６月及び１１月実施）の**受験票の写し**を提出してください。 ※日本留学試験の受験票は、試験当日必ず持参してください。
資格証明書及び 成績評価証明書等	出願資格(イ)に該当する者は次のｉ～ivのいずれかの証明書を提出してください。 ｉ国際バカロレア資格証書の写し及び最終試験６科目の成績証明書の写し iiアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し iii バカロレア資格（フランス共和国）証明書の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し iv修了又は修了見込証明書及び当該教育施設が認定を受けた証明書
在留資格を証明するもの	住民票の写し（コピー不可）を提出してください。 住民票の写しが提出できない者は、査証及びパスポートの写しを提出してください。
宛名シール【Ｆ票】	郵便番号、住所、氏名を記入し、切り取り線①、②から切り離してください。
受験票送付用封筒 【Ｇ票】	所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、６７２円分の切手を貼付してください。
出願用封筒【Ｈ票】	①必要事項を記入のうえ、出願書類を同封し必ず「簡易書留・速達」扱いにて郵送してください。 ②封筒の表面の郵便番号欄に、下記のいずれかの郵便番号を記入してください。（住所を記入する必要はありません） ■経営学部・地域創造学部志願者　・・・〒８５８－８５８０ ■国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部志願者　・・・〒８５１－２１９５

※　外国の高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書が発行できない等やむを得ないと認められる事情がある場合は、卒業（修了）証書の写しを提出してください。その場合、受験時に原本の提示が必要となります。

（６）出願上の注意事項

①出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。

②出願書類がすべてそろっていない場合には受付できません。また、外国の学校又は機関において外国語で作成された書類には、**日本語訳**及び**公証書**※を添付のうえ提出してください。

※公証書は、日本国内にある各国の大使館、領事館、外務省等において、提出書類が真実であることを宣誓し、証明を受けてください。ただし、中国出身者の方については平成 24 年 8 月から中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では証明を受けることができなくなりました。**中国国内**の教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において証明を受ける必要があります。出願書類の準備に時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにしてください。

③出願受付後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

④受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。選抜期日が近づいても受験票が届かない場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

⑤入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

⑥一度受理した出願書類は返却しません。

⑦既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

（ア）出願書類を提出しなかった場合

（イ）出願が受理されなかった場合

（ウ）二重に振り込んだ場合

なお、当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から４０日以内とします。

（７）身体に障害のある入学志願者との協議

身体に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、以下の期日までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

○経営学部・地域創造学部・・・平成２７年１０月２１日（水）

○国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部・・・平成２７年１２月１１日（金）

（８）選抜方法

経営学部 ・ **地域創造学部**

出願書類、日本留学試験、及び大学が実施する小論文、面接の結果により総合的に選抜します。

なお、日本留学試験の出題言語は「日本語」とし、利用科目の文系・理系の選択、及び数学科目のコース１、コース２の選択については、どちらでも受験可能とします。ただし、合否判定には、各科目の素点を用います。

国際社会学部

出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験及び面接の結果を総合して選抜します。

情報システム学部

出願書類、日本留学試験の結果及び面接の結果を総合して選抜します。

看護栄養学部

出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験【栄養健康学科（化学）のみ実施】及び面接の結果を総合して選抜します。

①選抜期日

経営学部 地域創造学部	平成２７年１２月　８日（火）
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	平成２８年　２月２５日（木）

②試験時間

学部	学科	科目等	試験時間
経営	経営 国際経営	小論文	１０：３０～１１：３０（６０分）
		面接	１３：００～
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	１０：３０～１１：３０（６０分）
		面接	１３：００～
国際社会	国際社会	小論文	１０：００～１１：３０（９０分）
		面接	１２：３０～
情報ｼｽﾃﾑ	情報システム 情報セキュリティ	面接	１２：３０～
看護栄養	看護	面接	１２：３０～ （面接時間を変更することがあります。）
	栄養健康	学力試験（化学）	１０：００～１１：３０（９０分）
		面接	１２：３０～

○経営学部、地域創造学部の受験者は、９時から１０時までに、受付場所である佐世保校学生支援課にて受付を済ませ、指定された教室に入室し、着席してください。

○国際社会学科、栄養健康学科の受験者は、筆記試験開始時刻の２０分前までに指定された教室に入室し、着席してください。

③科目等の配点

学部	学　科	日本留学試験					本学選抜試験			配点合計
		日本語	数学	理科	総合科目	日本語記述得点	小論文	化学	面接	
経営	経営	400 点	200 点	200 点 ※1		50 点	300 点	—	※2	1150 点
	国際経営	400 点	200 点	200 点 ※1		50 点	300 点	—	※2	1150 点
地域創造	公共政策	400 点	200 点	200 点 ※1		50 点	300 点	—	※2	1150 点
	実践経済	400 点	200 点	200 点 ※1		50 点	300 点	—	※2	1150 点
国際社会	国際社会	400 点	200 点	—	200 点	50 点	100 点	—	100 点	1050 点
情報ｼｽﾃﾑ	情報システム	400 点	200 点	—	200 点	50 点	—	—	400 点	1250 点
	情報セキュリティ	400 点	200 点	—	200 点	50 点	—	—	400 点	1250 点
看護栄養	看護	400 点	200 点	200 点	—	50 点	—	—	200 点	1050 点
	栄養健康	400 点	—	400 点	—	50 点	—	200 点	200 点	1250 点

※1　経営学部・地域創造学部の日本留学試験については、理科（物理、化学、生物のうち２科目）又は総合科目の選択となります。

※2　経営学部・地域創造学部の選抜試験（面接）については、出願書類、日本留学試験、小論文の結果と総合して合否判定を行います。

④試験場

経営学部 地域創造学部	長崎県立大学佐世保校　　長崎県佐世保市川下町１２３番地
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	長崎県立大学シーボルト校　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１

（９）受験上の注意事項

①筆記試験開始後は、２０分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

②面接試験開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。その時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

③本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。

④当日は、**本学受験票**及び**日本留学試験受験票**を必ず持参してください。

⑤当日に受験票を忘れた者は、速やかに申し出て、係員の指示に従ってください。

⑥筆記試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机上に置いてください。

⑦筆記試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。

⑧不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。なお、その場合、失格となることがあります。

⑨携帯電話等の電子機器の使用は禁止しますので、電源を必ず切ってかばん等に入れてください。

⑩試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。

⑪昼食ができる場所は別途指示します。

⑫試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。

⑬試験前日の午後に限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。

⑭その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

(10) 合格発表

①合格発表日

経 営 学 部 地域創造学部	平成２８年　１月　８日（金）　午前１０時
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	平成２８年　３月　５日（土）　午前１０時

②合格発表方法

（ア）合格発表日に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に対して合格通知書を速達で発送します。

（イ）掲示場所

・経営学部、地域創造学部　長崎県立大学佐世保校本館玄関前ロビー

・国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部　長崎県立大学シーボルト校学生支援課前

（ウ）本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

・ホームページアドレス　　http://sun.ac.jp/

※ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。

（エ）電話等での問い合わせには一切応じません。

(11) 入学手続

①入学手続期間

経 営 学 部 地域創造学部	平成２８年　１月１８日（月）～１月２２日（金）　**必着**
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	平成２８年　３月　６日（日）～３月１５日（火）　**必着**

②入学手続先

経 営 学 部 地域創造学部	〒858-8580　長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

③入学手続方法

（ア）入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

（イ）提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。

（ウ）郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、入学手続期間内必着とします。

（エ）大学窓口へ持参する場合は、平日の午前９時から午後５時までに入学手続先の学生支援課窓口へ提出してください。

（オ）一度受理した入学手続書類は返還しません。

④留意事項

合格者が入学手続期間内に手続を完了しない場合は、合格者としての権利が消滅します。

(12) 初年度納付金等

①入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

（ア）県内生　　１７６，５００円

（イ）県外生　　３５３，０００円

（注１）「県内生」とは、本人又はその配偶者、若しくは一親等の血族が、平成２７年４月１日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。

（注２）入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注３）入学料は、入学手続期間内に納付してください。

（注４）既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

②授業料

前　　期	後　　期	年　　額
２６７，９００円	２６７，９００円	５３５，８００円

（注１）授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注２）授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、合格通知書とともに送付します。

（注３）在学中に授業料の改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

③その他納付金

学　　部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経　　営 地域創造	―	１２，０００円	３３，０００円	４，６６０円
国際社会 情報システム 看護栄養	５０，０００円	１０，０００円	２９，５００円	４，６６０円～

（注）その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

④実習等経費

費用については３６ページをご参照ください。

７．入試情報の開示

（１）個人成績の開示

平成２８年度特別選抜（帰国子女・社会人・私費外国人留学生）入学試験受験者の個人成績を受験者本人に限り開示します。

①申請期間　平成２８年５月２日（月）から平成２８年５月３１日（火）まで
（平日の午前９時から午後５時まで）

②申請方法　経営学部・地域創造学部は佐世保校、国際社会学部・情報システム学部及び看護栄養学部はシーボルト校の学生支援課窓口にて、所定の用紙により申請してください。
（本人を確認する書類等の提示が必要です）

③開示内容　（ア）（ｉ）帰国子女・社会人
・本学選抜試験の得点
※経営学部・地域創造学部は、小論文の得点のみ開示します。
（ⅱ）私費外国人留学生
・日本留学試験の得点
・本学選抜試験の得点
※開示内容は、本学が判定に使用した教科に限ります。
※経営学部・地域創造学部は、日本留学試験、小論文の得点のみ開示します。
（イ）（ア）の総得点及び順位
※経営学部・地域創造学部は、総得点のみ開示します。
（ウ）調査書（「指導上の参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く）

（２）合格者の成績

平成２８年度特別選抜入学試験合格者の総得点の最高点、最低点、平均点を平成２８年５月２日（月）から開示します。ただし、合格者が１０名未満の入試区分の学科については、開示いたしません。

（３）前年度の入試状況

【帰国子女特別選抜】

学　部	学　科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
看護栄養	看　護	若干名	1	1	1
	栄養健康	若干名	0	0	0
大学合計			1	1	1

【社会人特別選抜】

学　部	学　科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
看護栄養	看　護	若干名	4	4	1
	栄養健康	若干名	0	0	0
大学合計			4	4	1

8．評価基準、合否判定基準

（1）評価基準

【帰国子女特別選抜】

学部	学　科	科目等	評　価　基　準
経営	経　　営 国 際 経 営	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国 際 社 会	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
情報システム	情報システム	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
	情報セキュリティ	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
看護栄養	看　　護	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	志望理由書等出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄 養 健 康	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、化学に対する基礎知識を合わせて評価する。
		面　接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。

【社会人特別選抜】

学部	学　科	科目等	評　価　基　準
経営	経　　営 国 際 経 営	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国 際 社 会	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
情報システム	情報システム	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
	情報セキュリティ	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
看護栄養	看　　護	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄 養 健 康	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。

【私費外国人留学生特別選抜】

学部	学　科	科目等	評　価　基　準
経営	経　　営 国 際 経 営	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。

学部	学　科	科目等	評　価　基　準
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国　際　社　会	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
情報システム	情報システム	面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
	情報セキュリティ	面　接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。
看護栄養	看　　護	面　接	志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄養健康	学力試験 （化学）	化学の基本的な知識と理解力について評価する。
		面　接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。

（２）合否判定基準

【帰国子女特別選抜】

学部	学　科	合　否　判　定　基　準
経営	経　　営 国際経営	①小論文の得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公共政策 実践経済	①小論文の得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国　際　社　会	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
	情報セキュリティ	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看　　護	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	栄養健康	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。

【社会人特別選抜】

学部	学　科	合　否　判　定　基　準
経営	経　　営 国 際 経 営	①小論文の得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	①小論文の得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国 際 社 会	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
	情報セキュリティ	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看　　護	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	栄 養 健 康	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。

【私費外国人留学生特別選抜】

学部	学　科	合　否　判　定　基　準
経営	経　　営 国 際 経 営	①小論文と日本留学試験の総得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合格者を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	①小論文と日本留学試験の総得点で順位を決め、面接の評価を勘案し、総合的に合格者を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
国際社会	国 際 社 会	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
	情報セキュリティ	①小論文と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看　　護	①日本留学試験と面接との総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、日本留学試験の得点が高い者を上位とする。
	栄 養 健 康	①日本留学試験、学力試験、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。

９．大学生活案内

（１）奨学金

【一般学生】

独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は、次表のとおりとなっています。第二種奨学金の貸与を受けた者は、その貸与額に対し年３％（上限金利）の利息がつくことになっています。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種　　類	貸　与　月　額（平成２７年度実績）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金	30,000 円　45,000 円 （２種類から選択）	30,000 円　51,000 円 （２種類から選択）
第二種奨学金	30,000 円　50,000 円　80,000 円　100,000 円　120,000 円 （５種類から選択）	

【私費外国人留学生】

独立行政法人日本学生支援機構や民間団体からの奨学金があります。

詳細については、学生支援課学生グループへお問い合わせください。

（２）授業料の減免

【一般学生】

学業優秀と認められた学生で、家庭の経済事情（生活保護家庭等）又は不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

【私費外国人留学生】

基準単位を取得し、生活困窮と認められる者で、序列化した成績が上位１／２以上の者は全額免除、１／２未満の者は半額を免除する制度があります。

（３）初年度納付金以外の経費（参考）

入学料、授業料及びその他納付金以外に、１年次又は２年次以降に次の経費が必要となります。（納付時期等の詳細については入学後に説明します。）

①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料（TOEIC、日経テスト等）　約 3,500 円～／回

②必修となる研修、課外講座等の費用

・経営学部　経営学科（ｱｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞｺｰｽ）

Web 講座（１年次）、税理士試験対策講座（２、３年次）　約 120,000 円～／年

・経営学部　国際経営学科

海外語学研修（１年次）、海外ビジネス研修（３年次）　約 200,000 円～／年

（場所、期間により異なる）

・国際社会学部　国際社会学科

海外語学研修（２年次）　約 200,000 円～（場所、期間により異なる）

③実験、実習等の費用

④国際社会学部及び情報システム学部入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。（詳細は入学後に説明します。）

（４）その他の連絡事項

下宿・アパートについては、本学大学生活協同組合で相談に応じます。

ＴＥＬ　佐 世 保 校　　０９５６－４８－３７３２

シーボルト校　　０９５－８８７－５５５２